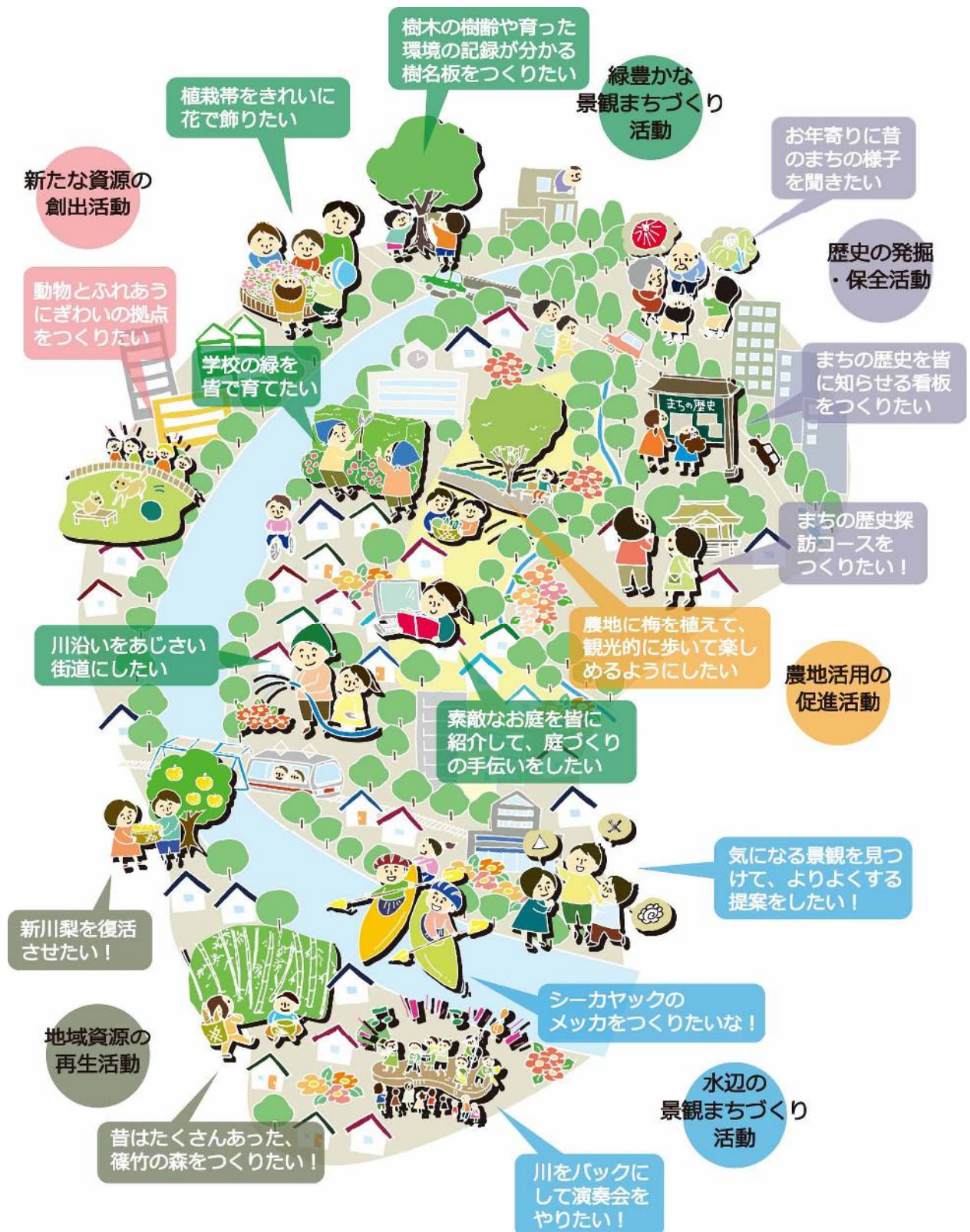


第2節 小景観区 ～区民主体による江戸川らしさの創造・再生・育成～

1 小景観区のまちづくりの考え方

小景観区のまちづくりは、区民主体による「江戸川らしさ」を創造・再生・育成する活動を通じて、まちが活性化し、区民・事業者がまちへの愛着を深め、個性あふれるまちの景観が表れるよう、区民発意の活発な活動が様々なまちで展開されていくことを目指します。



小景観区のまちづくりでは、多様な区民の活動を支えるための制度を活用し、より活発な活動を広げていきます。

小景観区のまちづくり

身近な景観をつくる 区民の活動

本区では、まちをよくしていく
多種多様な区民活動を展開して
います。例えば、アダプト活動
に約 6,000 人もの参加があり
ます。これらはすべて景観まち
づくりにつながっています。



江戸川らしさのある 景観を再生・ 引き立たせる活動

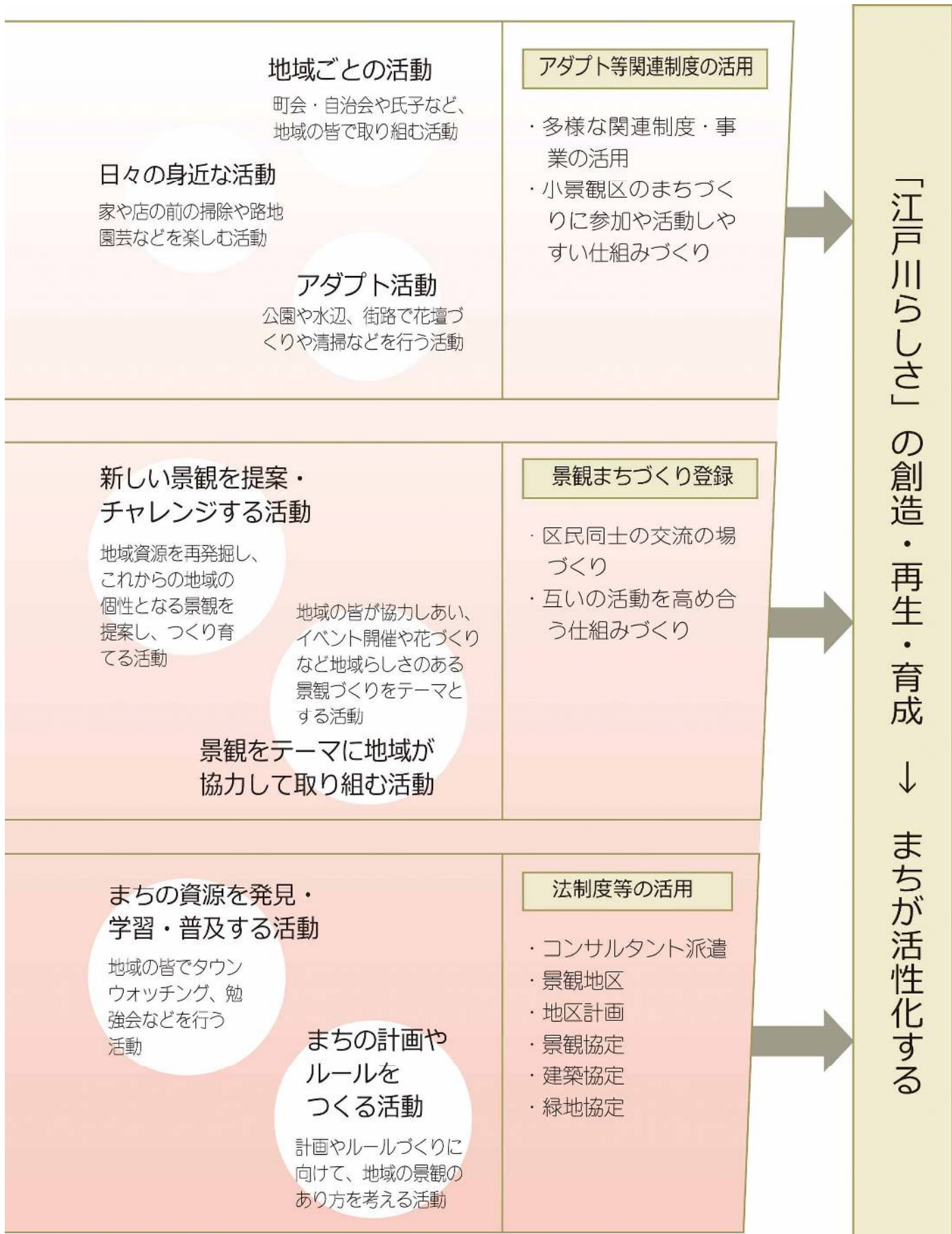
まちの歴史や資源など、多様な
江戸川らしさを活かすことを
テーマとした景観まちづくり活
動を広げていきます。



将来像を描き、 実践する活動

地域の皆でまちの将来像を描
き、計画やルールをつくる活
動を広げていきます。





2 小景観区のまちづくりを支える仕組み

より多くの区民が参加しやすく、さらに活動が活発になるよう、小景観区のまちづくりを支える仕組みをつくります。

(1) アダプト等関連制度の充実

景観まちづくりに関連する活動を支援する様々な制度や事業等の一層の充実を進めます。

- ・アダプト活動制度((財)江戸川区環境促進事業団、土木部)
- ・ボランティア登録(ボランティアセンター) など

(2) 景観まちづくり登録制度の創設

江戸川らしさのある景観を再生・引き立たせる活動の登録制度を設けて、区民同士が交流し、互いの活動を高めあう機会をつくります。

景観まちづくり登録制度

登録にあたっては、①活動のテーマと目的、②活動主体と規模、③活動対象場所、④活動内容を明らかにすることで、活動方針を明確にもった団体となるとともに、登録により、区の景観まちづくりに位置づけられます。

①活動目的とテーマ

小景観区のまちづくりは、江戸川らしさを活かした、より良いまちづくり活動全般を指します。子育て、障害者福祉、芸術、文学、教育、文化財保全、コミュニティ形成、商店街振興など様々な目的に、「まちの景観」をよりよくする視点を目的に加えたまちづくり活動とします。

②活動主体と規模

本区のコミュニティを支える様々な既存の団体、新たに団体の設置や複数の団体が協力して活動する組織体等、活動主体の規模や参加人数を問わず、まちの景観をより良くする視点を持って活動する全ての団体、個人が小景観区のまちづくりの主体となります。

③活動対象場所

活動の対象場所として、公園、河川、道路、路地など、活動する大まかな区域や主な場所を明らかにします。特定の場所は定めず、全区的に取り組むものも含まれます。

活動の範囲が隣接又は重なり合う場合は、それぞれ互いの活動を尊重し合い、情報交換などを通じて共存していきます。

④景観まちづくり活動の内容

活動の内容は多種多様で、清掃活動やイベント開催などの実践的な景観をつくり、守る活動から、計画やルールづくり、地域への普及活動などが想定されます。

(3) 法制度等の活用

まちの計画やルールをつくる活動をより積極的に行う場合、法制度等の活用を進めます。

- ・ **コンサルタント派遣（都市整備促進条例）**

区民主体でまちの計画やルールをつくる活動に対し、専門家としてコンサルタントを派遣する制度。



コンサルタント派遣(イメージ)

- ・ **景観地区（景観法）**

市街地の良好な景観の形成を図るため、都市計画として、建築物の形態意匠や高さ等に関する一定の制限を定める地区。



一之江境川親水公園沿線景観地区

- ・ **地区計画（都市計画法）**

住民の合意に基づいて、それぞれの地区の特性にふさわしいまちづくりを誘導するために、地区計画の目標や地区の整備、開発及び保全の方針等を定める計画。

- ・ **景観協定（景観法）**

良好な景観の形成に関する事柄をソフトな点まで含めて、住民間の協定により一体的に定めることができる制度。

- ・ **建築協定（建築基準法）**

土地の所有者等が建築物の敷地、位置、構造、用途、形態、意匠又は建築設備に関する基準について協定を締結する制度。

- ・ **緑地協定（都市緑地法）**

土地所有者等の合意によって緑地の保全や緑化に関する協定を締結する制度。



地区計画制度によるまちづくりの手引き

3 小景観区のまちづくりの種類

小景観区のまちづくりの種類として、以下のようなタイプがあげられ、それぞれの活動を広げていきます。

- ・身近な景観をつくる区民の活動
- ・江戸川らしさのある景観を再生・引き立たせる活動
- ・将来像を描き、実践する活動 など

(1) 身近な景観をつくる区民の活動

本区では、まちをよくしていく多種多様な区民活動が行われています。例えば、アダプト活動に約 6,000 人もの参加があります。これらはすべて景観まちづくりにつながっており、今後もこれらの活動を広げていきます。



例えば・・・

- ・ 家や店の前の掃除や路地園芸などを楽しむ、日々の身近な活動
- ・ 公園や水辺、街路などで花壇づくりや清掃などを行うアダプト活動
- ・ 町会、自治会や氏子など、地域の皆で取り組む活動



区内事例 今井街道しらさぎ通りにおける活動 今井街道しらさぎ通り西一之江商店会

今井街道しらさぎ通り西一之江商店会は、街道を中心とした 31 商店が加盟する商店会です。

かつての街道は、行徳道と言われ、城東電車やトロリーバスも通るなどにぎわいの中心になっていました。

そこで、商店街を明るくおしゃれな雰囲気にし、にぎわいを取り戻そうと、区と協働し、歩道のカラー化、電線の地中化、街路樹の植え付けなどを行い、平成 11 年に完成しました。

こうして整備された今井街道をもっときれいにしたい！と商店街の方々が中心となり植栽枡への花の植え付けや清掃などを行うボランティア活動を行っており、清潔感ある街道に植えられた街路樹や花は道を行く人々の目を楽しませています。



今井しらさぎ通り西一之江商店会による
植え付けの様子

(2) 江戸川らしさのある景観を再生・引き立たせる活動

まちの歴史や資源など、多様な江戸川らしさを活かすことをテーマとした景観まちづくり活動を広げていきます。

例えば・・・

- ・ 地域資源を再発掘し、これからの地域の個性となる景観を提案し、つくり育てる活動
- ・ 地域の人々が協力し合い、イベント開催や花づくりなど江戸川らしさのある景観づくりをテーマとする活動



区内事例 モニュメントをテーマに活動 モニュメント6

モニュメント6は、江戸川総合人生大学の卒業生など6名が集まり結成されました。

区内の駅前や親水公園・緑道には多くのモニュメントが設置されています。その中には、汚れているものや、モニュメントの前に看板などが置かれているものがあることに気づき、モニュメントをテーマとした清掃活動などのボランティアを始めました。

また、清掃した彫刻を写真に収め、作者などの情報も加えた『街の美術館』というマップを作成しており、これにより、モニュメントを身近に感じることができています。

それがまちの良さや魅力を伝えることにつながっています。



モニュメントの清掃活動の様子



まちの良さや魅力を伝える「街の美術館」

(3) 将来像を描き、実践する活動

地域の人々でまちの将来像を描き、計画やルールをつくる活動を広げていきます。

例えば・・・

- ・ 地域の人々でタウンウォッチング、勉強会などを行い、発見・学習・普及する活動
- ・ まちの計画やルールづくりに向けて、地域の景観のあり方を考える活動



区内事例 一之江境川親水公園での取り組み 景観地区

一之江境川親水公園の沿線は、親水公園を中心とした水と緑豊かな環境が形成されています。かつての本区の原風景というべき農地、屋敷林、寺社などの景観資源が点在し、市街地の中で魅力的な景観となっている地区です。

また、公園完成以来、周辺の町会を中心とした『一之江境川親水公園を愛する会』による清掃活動や、自然観察会、その他ボランティア団体による活動など、コミュニティの場となっています。

こうした環境を後世に残していくため、沿線の区民と区による懇談会を開催し将来の景観のあり方について話し合いを重ね、建物の高さや色彩などについてルールづくりを行いました。

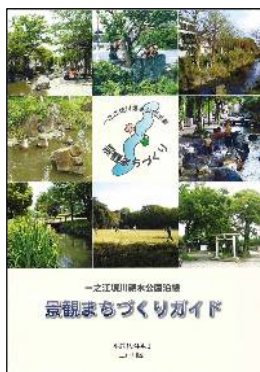
そして、平成19年12月に一之江境川親水公園沿線は、全国で初めて景観地区に指定されました。



自然観察会の開催



懇談会により、将来の景観のあり方を検討

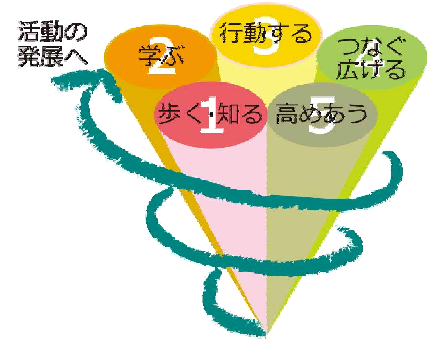


将来の景観のあり方や、建物のルールをまとめた「景観まちづくりガイド」の作成

4 小景観区のまちづくりの進め方

小景観区のまちづくりでは、「江戸川らしさ」をそこに住む人々が改めて発見・発掘することから、5つのステップに沿って進めます。

また、区民、事業者が主体となった、江戸川らしさを活かした活動が区内各地で広がり、さらに発展していけるよう、区民同士の交流の場や互いに高めあう仕組みをつくります。



1) 歩く・知る

「江戸川らしさ」を発見・発掘する機会を充実させることにより、多くの人の景観への意識を高めます。

2) 学ぶ

まちで発見・発掘した「江戸川らしさ」を活かし、景観まちづくり活動を実現するために必要なことを学べる場を増やします。そして、福祉や芸術、水と緑など、様々な視点から将来の夢を描きます。

3) 行動する

学んだことを活かして、行動します。アダプト制度など区が実施している様々な区民協働、区民の活動に関する支援制度や事業を活用しやすいよう、情報発信を行います。

4) つなぐ・広げる

個々の取り組みを拡充するだけでなく、地域で活動するより多くの人たちと協力し、江戸川らしさを広げるための交流の場をつくります。また、景観まちづくり活動を知り、情報交換し、活動を高めあうことにより、より魅力ある継続的な活動に発展させていきます。

5) 高めあう

情報交換・交流では、互いの活動を尊重し、高めあう場としていくほか、良い活動を多くの人に知らせるため、(仮称)景観まちづくり賞などの表彰する仕組みをつくります。



まずは歩いて、まちを知ろう！



専門家の意見も聞いて学ぼう！



活動を始め、地域に広げていこう！



活動をほめて、互いに高めあおう！

始めよう！ 広げよう！ 景観まちづくり

「小景観区のまちづくりの進め方」の5つのポイントをふまえ、活動を始めるためのヒントを以下に示します。ぜひ、参考にしてください。

1 歩く・知る



ヒントは、まちの中にある！

まずはまちを歩いて、まちの良いところや気になるところを見つけよう

江戸川らしさを知る！

まちの歴史や懐かしい風景の断片から、外国や他のまちにはない、江戸川らしさを考えよう

ヒント

●メモ、カメラ、地図を持ってまちを歩こう！

まち歩きでは、気づいたこと、気になることを忘れないようにその場で記録することも大切。メモやカメラを忘れずに！地図もあると便利。

「えどがわマップ」（区HPより） <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/shisetsuguide/map/index.html>

●江戸川区郷土資料室に行ってみよう！

歴史や文化を知りたい方は、郷土資料室に行こう。様々な文献や資料を見ることができます。（入場無料）

住所：江戸川区松島 1-38-1 グリーンパレス 3階
電話：03-5662-7176
開館：9：00～17：00 祝日と年末年始は休館

●楽しいまち歩きのポイントを知ろう！

子どもたちとのまち歩きの方法や、楽しみながらまちのよさを発見する方法などが載っているホームページを見てみよう！

景観まちづくり教育（国土交通省HPより） <http://www.mlit.go.jp/crd/townscape/gakushu/index.htm>

2 学ぶ



他のまちも見てみよう！

いろいろなまちに行ったり、資料を調べたり、他のまちの事例を学ぼう

いろんな視点から学べるチャンス！

シンポジウムやイベント、講座などに積極的に出てみよう

ヒント

●水と緑の区民カレッジの講座に参加しよう！

腐葉土づくりや日曜庭師入門講座など、水と緑に関する様々な知識や技術を学べる講座を開催しています。区内の花卉生産や造園の専門家が講師になっています。

水と緑の区民カレッジ講座（区HPより） <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/kurashi/sports/kozakyoshi/tsu/college/index.html>

●江戸川総合人生大学に入ってみよう！

社会貢献を志す人を応援するために設立された、まちづくりや介護・福祉など様々な分野から学び・実践する場です。現在、多くの卒業生がまちづくり活動の第一線で活躍しています。

江戸川総合人生大学公式HP
<http://www.sougou-jinsei-daigaku.net/>

●NPO 法人えどがわエコセンターに行こう！

自然観察会など、様々なイベントや講座を開催しているので、興味のあるものに参加してみよう。

NPO 法人えどがわエコセンター公式HP
<http://www.edogawa-ecocenter.jp/>

3 行動する



江戸川らしさは暮らしの中で育まれる！

皆でまちの夢を描き、共有して
取り組もう

まちに建物や植物の専門家がたくさんいる！

専門家の知恵や技術を借りて、
景観まちづくりを進めよう

ヒント

●活動を登録しよう！

活動を登録すると、区の支援や様々な情報を得ることができます。

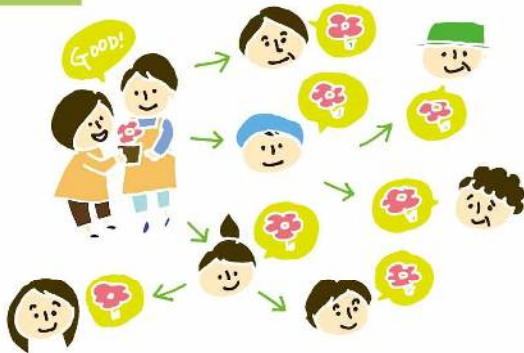
- ・ボランティア登録
江戸川区ボランティアセンター 03-5662-7671
- ・公園ボランティア登録
(財)江戸川区環境促進事業団みどりの推進課
03-5662-6738
- ・緑のボランティア・まちかどボランティア登録
土木部保全課事業調整係 03-5662-1930
- ・水辺のボランティア
土木部計画課水と緑の推進係 03-5662-8393
- ・景観まちづくり活動登録
※現在調整中

●アドバイザー派遣制度を活用しよう！

まちの夢を描き、それを実現するには、皆で夢を共有することが必要です。イメージをとりまとめたり、技術的なアドバイスを行うアドバイザーを派遣します。

問合せ：都市開発部都市計画課調整係
Tel 03-5662-6368

4 つなぐ・広げる



よい話は口コミで広がる！

まずは家族やご近所、地域の皆に
話して活動を広げよう

ヒント

●ボランティアフェスティバルに参加しよう！

「福祉・健康」「子どもの健全育成・教育・文化」「災害時支援」「国際交流・支援」「環境」など、様々な分野で活動するボランティア団体が一堂に会し、互いのボランティア活動に対する理解を深め、ネットワークをつくる場として毎年開催しています。

問合せ：江戸川区ボランティアセンター
Tel 03-5662-7671

●アダプト活動交流会に参加しよう！

公園ボランティア、まちかどボランティア、水辺のボランティアなど、各分野の団体が発表を行ったり、互いの活動を紹介し合うなど、公共の場で活動しているボランティア同士の幅の広い交流を行っています。

5 高めあう

ほめられたら、
もっと活動したくなる！

よい取り組みは声に出して
ほめ、活動を高めあおう



ヒント

●(仮称)景観まちづくり賞 に応募しよう！

取り組んでいる活動を応募して、景
観まちづくり賞に応募してみよう。

問合せ：※現在調整中

5 景観まちづくり活動の着眼点

「緑」「まちと調和する建物」「まちの色」など身近な課題から自分たちでできる景観まちづくりを考え、行動していくための着眼点をまとめました。

適切な維持管理を行い、
緑の質を上げよう！



剪定時期や仕立て方など、
専門家に相談してみよう



緑は狭いところにも
植えられるので、
工夫して楽しもう！

鉢植えても
楽しめる



ちょっとした工夫で
緑は育つ！

緑の質を上げるには、
「引く」ことも重要



間引きをしたり、
整理して、緑の質を
上げることも必要だね

キレイなところは汚れない



皆で手入れをしていけば
キレイな景観が保たれる



連続した緑が
あると
落ち着くね



素材と色のトーンが
同じで、統一感のある
景観になっている

生垣、色、素材など
何か1つでも
そろえると、
統一感が出る



色の使い方は
自然に学ぼう

葉の緑から
赤へのグラデー
ションが美しい

周囲の環境によって、
落ち着いた色でも
目立たせられる



落ち着いたまちなみには、
落ち着いた色が似合う

まちの個性が
生きる
色を選ぼう



緑道の緑と建物の緑、
どちらが目立って
いるかな・・・

看板がまちの色を印象づける
要素となっている



いろいろな色があると、
にぎやかな反面、
煩雑になる場合もあるね

ちょっとしたスペースも
ゆとりを感じさせる



まちに
「ゆとり」を
もたらそう



まちなかに農地が残っていると
ホッとするね



建物と建物の間に
「スキマ」があって、
ゆとりを感じる

まちの色から景観まちづくりを始めよう

まちの色は、夕日や青空、樹木や草花などの季節や時間で変化する自然の色や、建物や看板などの人工物の色、人々の服装や蝶の羽の色などの様々な色が組み合わせられてきており、私たちの暮らしの中でとても身近な存在です。

そのため、景観まちづくりに取り組む上で、色は誰もが親しみやすいテーマのひとつです。ぜひ、まちの色から景観まちづくりを始めてみませんか！

まちづくりの
コンセプト
を決めよう！



江戸川らしさを大切にしたいまちづくりのコンセプトをみんなで決めよう。

まちの色を
測ってみよう！



まちの色を測って、現在のまちなみの状況を調べてみよう。

これからの
まちの色を
考えよう！



専門家のアドバイスを受けながら、江戸川らしさを活かした色の使い方を考えよう。

まちの色を測ってみると・・・

意外と建物の外壁の色は、どこのまちも差があまり見られないけど、植物や看板などによってまちの色が印象づけられるんだね。



隣り合う建物の外壁は、色合いや明るさが揃っていると、まとまりある印象になるね。



親水河川のまちの色



建物の外壁が暖色系の明るい色づかいのものが多くなっています。全体的に明るいイメージの中に植物の緑が入ると、開放的な印象を与えるまちの色となっています。

白っぽい建物に植物の緑が映えていい感じ！

広々とした感じがいいね



+



▷





幹線道路沿いのまちの色

建物の外壁の色が明るいベージュ系の中に、濃い色づかいの建物があるなど、様々な色が使われていました。また、その中に看板などの色が入ると違ったまちの色になっています。

看板の色がにぎわいある雰囲気になっているね

ごちゃごちゃしている感じもするな



+

▷



商店街のまちの色

建物の外壁の色の大半は、淡いベージュなどの明るい色や、煉瓦系などの落ち着いた色が多いのですが、看板の多様な色づかいにより、また違ったまちの色となっています。

色に統一感があったらまちのオリジナリティがでるのでは？

おもちゃ箱をひっくり返した感じだね！



+

▷



農のまちの色

農地や屋敷などにより、緑や土の色が多く、全体的に落ち着いた印象を与えるまちの色となっています。

いつまでもこの雰囲気を残していきたいな。

緑と土・・・なんだか懐かしい感じがするね。



+

▷



※ここで再現している色は、実際の色と異なります